

平成26年11月 4日

南砺市長 田中 幹夫 殿

南砺市自治振興会連合会  
会長 島田 勝由



## 要 望 書

田中市長におかれましては、南砺市の発展に昼夜を問わずご尽力いただきしておりますことに、心から敬意を表する次第であります。

市長は、積極的に地域に出向き、我々市民との対話の中で市政運営をいただきておりますことに、当連合会といたしましては、大変に心強く感じております。

合併10周年を迎える、住民自治組織の中心的な役割を果たす自治振興会の役割がますます大きくなっています。今後は、従来からの取り組みに加え、見守りなどの分野での役割がさらに増加していくものと考えているところです。

さて、市内では防災体制の充実のために基幹消防署の整備が進められ、今年度中には、南砺消防署の完成が見込まれるなど、安全で安心な暮らしやすいまちづくりへの取り組みが着実に進められております。

また、近年の、少子高齢化の急激な進行と、それに伴う定住人口の減少は、住民自治組織の根幹を搖るがす事態となりつつあります。

このような状況を踏まえても、魅力ある地域づくりや安全で安心な地域づくりは最重要課題であります。

よって、次の点について平成27年度予算編成、並びに市政運営において格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。



## ■新規に要望するもの

### 1. 安全で安心な暮らしやすいまちづくりについて

市民が安全・安心で地域に暮らすためには、消防力の向上、防災対策の徹底、生活基盤となる道路網の整備や公共交通の確保が重要となってきます。

消防署再編に伴う跡地の有効活用やアクセス道路の整備、老朽化した機材の更新、効率的な施設整備など、早急な対応が必要となっております。

また、近年の豪雨等の異常気象の対策として、洪水調整機能を有するダムの整備、流下能力を高めるための河川の浚渫や改良が必要となっています。

生活基盤となる道路網の整備については、中京圏と北陸を結ぶ東海北陸自動車道が安全に通行できるよう、早期の4車線化が望まれています。

さらに、通学路の安全対策や雨量規制等による孤立状態の解消に向けた道路整備、安全な交通を確保するための維持管理の徹底などを進めることが必要となっています。

のことから下記の項目について積極的な対応を図られたい。

#### (1) 消防力の向上

①消防ポンプ車や耐震防火水槽、屯所をはじめとする消防施設等について、

整備・更新の促進をはかること。 H26-069-001

- ・消防ポンプ車の更新の促進
- ・効率的な出動に向けた、屯所の整備

②消防署跡地（城端、井波庄川、福野、福光）の有効活用については、地域の防災拠点としての利用を図るなど、幅広い市民の意見を取り入れ、

早期に方針を打ち出すこと。 H26-069-002 総務課防災危機管理体制

#### (2) 豪雨対策

各地域における浸水対策の取組を進め、早期に対策の効果が発揮されるよう取り組むこと。 土木課河川係 H26-069-003

- ・城端市街地における浸水被害防止に向けた排水路の早期整備
- ・防災資材（土のう、充填用砂）備蓄箇所の周知及び利用方法の訓練実施

#### (3) 避難所開設に伴う連絡体制について

総務課防災危機管理体制 H26-069-004

平成26年10月13日台風19号が市に接近した際に、市内一部地域に避難準備情報が発令された。しかし、どのような地域にどのような基準に基づいて発令されたのか、どこまで情報が伝わっていたのかが市民からみるとわかりにくく、市民がどのような動きをすればいいのか理解されなかつた。

また、避難所の開設についても、誰がどのように取組むのかが周知されていないほか、実際に設置される場合において、市の体制にも限界があることが想定される。

のことから、災害の発生が予測されるときの市民の行動や地域の取組みに

H26-069-005

総務課防災危機管理体制

について検討され、新たにマニュアル化されたものを示されるとともに周知されたい。

#### (4) 林道等の安全確保について H26-069-006 林政課林政係

主要な林道や遊歩道に隣接した山林には、枯損木の存在が考えられますが、その実態については調査がなされていないのが現状です。

事故の発生を防止するためにも、林道や遊歩道における枯損木の調査を実施され、危険を及ぼす可能性がある場合には、所有者への指導や市による伐採を実施されたい。

#### (5) 城端スマートインター開設への取組み促進について

エコビレッジ構想の具体化に伴い、桜ヶ池周辺の利用者の増加が見込まれることから、城端スマートインターの開設に向けた具体的な取組みを加速すること。 H26-069-007 土木課道路係

#### (6) 市道の維持管理について

市道の植樹枠や植樹帯の管理については、合併以前からの管理体制のままとなっています。また、「市道クリーンアップ事業」では、事業実施時に農村部での負担が大きく、不公平感を感じています。

このことから、市道における植樹枠等の管理方針の統一を図るとともに、地域の自治会が河川堤防の草刈りのように業務として受託できる体制を検討されたい。 H26-069-008 土木課維持係

#### (7) 地域住民の交通の確保

平・上平地域では、世界遺産バスの運行に伴い、病院への通院時には城端駅での乗換えが必要となった。高齢者の安全安心のため、路線の存続を図ること。 H26-069-009 政策推進課交通政策係

#### (8) 防犯対策の推進について

地域で、安全安心に暮らす上で防犯対策は欠かすことのできない要素です。

事件の発生を未然に防ぐための防犯カメラの設置について、設置基準の明確化と計画的な整備を進められたい。 H26-069-010 市民生活課生活安全衛生係

## 2. 地域活性化の支援策について

近年、市街地における空き店舗が増加しているばかりではなく、市内公共交通の拠点となる、すべてのJR駅舎内の売店が閉鎖されている。このことが地域の活力をさらに低下させる一因となっています。

しかし、市内には近県からの来訪者が多い観光資源も数多くあり、その資源のさらなる活用と維持が望まれているところです。

のことから、下記の項目について積極的な取り組みを図られたい。

- (1) 福光駅の有効利用 H26-069-011 政策推進課交販部  
利用者の減少や、市からの助成の打ち切りによって、駅構内の売店が閉鎖され、市の玄関口としての活力が失われている。  
このことから、JR城端線の活性化の観点からも、利用者の多数を占める高校生が活用しやすい施設として再生するとともに、JR利用者以外も利用することができる、地域コミュニティ施設としての検討をおこなわせたい。

- (2) 観光資源の有効活用 H26-069-012 交流観光まちづくり課交販課  
北陸新幹線開業にあわせ、世界遺産五箇山合掌集落をはじめとする南砺市の観光資源の有効活用を図られたい。中でも、石川県境に位置する医王山麓観光施設については、金沢側から市への入口といった立地を有効に活かすために、施設の充実、環境の整備、市内の温泉とあわせた広報などによる利用促進に取り組まれたい。

- (3) 福光福祉会館周辺施設の再編整備 H26-069-013 生涯学習スポーツ課施設管理係  
福光福祉会館周辺施設再編検討委員会により提言された趣旨に基づき、有効な土地利用が速やかにおこなわれるよう取組みを進められたい。

### 3. 地域での見守り体制について

地域で暮らし続けるためには、生まれたときから介護が必要となるときまで、地域での見守りが大切となっています。地域での見守りを進めるにあたり、自治振興会の位置づけは今後ますます重要となります、同時に各地区社会福祉協議会の位置づけも重要となってきます。

また、災害時における在宅要介護者の受け入れについても、広く準備を進める必要があります。

のことから、下記の項目について積極的な取り組みを図られたい。

#### (1) 地区社会福祉協議会活動活性化のための財源強化

今後の高齢者対策、子育て支援など、地域での見守り体制の充実には地区社会福祉協議会の果たすべき役割が急速に増大しています。しかし、その体制については財源がともなわないなど、課題があると考えています。

つきましては、地区社会福祉協議会の活動の活性化に向けた独自事業の展開が図られるよう、財源の確保（市社協基金の活用）の検討など、市の強い指導力を発揮されたい。 H26-069-014 福祉課社会福祉係

#### (2) 在宅要介護者受け入れ体制の整備

災害発生時に避難所となる公民館では、在宅要介護者の介護ができないことが考えられます。

のことから、現在、特別養護老人ホームと結んでいる協定を他の施設とも締結し、受け入れ態勢の整備を進められたい。 H26-069-015

### (3) 障害者差別解消法の啓発

平成25年6月に障害者差別解消法が制定され、平成28年4月に施行されます。市における取組み要領を制定し、同法の周知・啓発活動に努められたい。

H26-069-016 福祉課障害福祉係

### (4) 保健センター機能の充実

専門資格者が常駐する利点を生かし、保健センターでの取組みに、障害訓練、子育て支援、放課後児童保育等の機能を加え、母子、高齢者、障害者等が利用しやすい施設として使用されるよう検討されたい。

H26-069-017 福光保健センター

## 4. 子育て環境の充実について

元気で活気ある南砺市の実現には、妊娠、出産、保育、義務教育、高等教育などの時期においても、充実した子育て環境が求められています。地域で出産することができ、充実した子育て環境が整備されることで地域の魅力が高まり、安心して子育てができるものと考えます。

のことから、下記の項目について積極的な取り組みを図られたい。

### (1) 地域での子育ての拠点となる、児童館の整備及び学童保育時間の延長

地域で暮らし子供を育てる上で、児童館の整備や、利用しやすい運営時間等は大変重要な要素となります。

特に、城端地域では児童館の具体的な整備計画が示されていません。早急に整備にむけた検討委員会を立ち上げるなど、計画の策定を加速させること。

また、地域によって学童保育の時間が短い地域があり、共働き家庭からは、利用時間の延長も求められています。

のことから、早期に児童館の整備計画をされるとともに、地域における学童保育の時間延長に取り組むこと。

H26-069-018 子育て支援室子育て係

### (2) 保育園から連携した小学校・中学校への進学モデル校の実施

小学校や中学校へ進学するにあたり、住所地により就学する学校が決まっています。近年、保護者の都合により住所地外の保育園において保育されるケースがあることから、こうした園児についてはモデルケースとして、保育園の住所地においても進学できる運営モデルの制度を検討されたい。

H26-069-019 教育総務課総務係

### (3) 特色ある高等教育の実施に向けた取り組みの推進

南砺福光高校は県内で唯一の全日制国際科を有し、国際交流に積極的な南砺市の特徴を活かす教育が進められており、地域にとっても必要不可欠な教育機関であるといえます。引き続き、中高一貫の教育体制の検討も含め、国際人の養成等、特色ある教育により、地域で活躍する人材の養成を県と協力して進められたい。

H26-069-020 教育総務課総務係

## ■従前より要望しているもの

### 1. 安全で安心な暮らしやすいまちづくりについて

#### (1) 消防力の向上

- ①消防ポンプ車や耐震防火水槽、屯所をはじめとする消防施設等について、整備・更新の促進をはかること。
  - ・耐震防火水槽の増設
- ②基幹消防署から市街地へのアクセス道路の整備を進め、緊急車両の到達時間短縮に向けた取組みを加速させること。

#### (2) 利賀ダムの整備

近年多発する災害から庄川流域30万人の生命・財産を守る治水は勿論、年間を通じ安全・安心に通行することができる道路事業の促進に全面的に協力している。現在完成予定とされている平成34年度までに、「国道471号利賀バイパス」の整備を含め、必ず完成するよう工事の促進を求める。

#### (3) 豪雨対策

- ①流下能力を高めるために、河川の堆積土砂について状況を確認の上除去するよう、管理者に働きかけること。
- ②土砂災害警戒区域の指定を受けた渓流について、砂防・治山事業による山間部の土石流等の対策がとられるよう、要望を進めること。
- ③雨量等による通行規制がおこなわれる国道について、引き続き対策工を実施され、規制の見直しに向けた取組みを管理者に働きかけること。

#### (4) 東海北陸自動車道の4車線化とスマートICの整備促進について

- ①東海北陸自動車は、中京圏と北陸を結び、沿線地域の産業経済・観光等の発展に大きな役割を担っており、高速道路としての安全と最大の効果を発揮するために、早期の4車線化の整備を求める。
- ②南砺スマートICの供用開始にあたり、アクセス道路の改良整備について早期に実現すること。

#### (5) 道路網の整備促進について

幅員が狭く歩行者の安全が確保できない県道について、重点的な整備をおこなうよう管理者に働きかけること。

### 2. 地域活性化の支援策について

#### (1) 空き店舗の有効活用のための振興策の拡充

中心市街地における空き店舗が増加している。空き店舗を活用するために、助成等の振興策について、拡充を図られたい。

#### (2) 合掌造り集落の保全推進

世界遺産五箇山合掌造り集落では、地元の茅を使った屋根の葺替えをおこなうために茅場の維持保全に努めています。しかし、葺替えに必要な量を地

元では確保できないことから、県外の材料を使用しています。

このことから、遊休地（スキー場のゲレンデ等）を利用した茅場の造成に  
対して、支援いただきたい。

#### 4. 子育て環境の充実について

##### （1）妊娠から出産まで、安心して生み育てるこことできる医療体制の整備

地域医療を担う開業医が少なくなっており、特に産婦人科医や助産所がないことが、妊産婦が安心して生み育てることができない一因となっています。

南砺市内で、安心して出産でききるよう長期的な取組みを求めます。

##### （2）小・中学校の複式学級解消

学校は地域活力の源です。小・中学校の複式学級を解消する関係規則の改  
正などを国・県に働きかけていただき、小規模小・中学校の学習環境整備に  
格段のご配慮をお願いしたい。